

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第50号	氏名	LE VIET THANG
学位審査委員	主査 関根一郎 副査 小路武彦 副査 下川 功		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は Unilateral ureteral obstruction (UUO)モデルを用いて線維化関連因子の発現を検索し、CTGF と angiotensin II (Ang-II)の腎間質尿細管障害における発現の意義と役割について検討したものであり、研究の目的は妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 免疫組織化学に CTGF や TGF-β 1 などの線維化関連因子と Ang-II の発現を検索し、二重染色により局在の関連を検討した。また、In situ hybridization および RT-PCR を用いて mRNA の発現の検索を行っており、その研究手法は妥当である。			
3. 解析考察の評価 上記手法で解析した結果、UUO モデルにおいては Ang-II の腎局所での発現により誘導される尿細管上皮細胞や間質細胞の CTGF や TGF-β 1 の過剰産生を介して間質線維化を引き起こすという機序の可能性を示している。慢性に進行する腎炎の間質線維化機序には Ang-II で調節される CTGF/TGF-β 1 の発現の関与を示唆しており、その解析や考察も高く評価できる。			
以上のように本論文は慢性腎障害の進展機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			